

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

ました。その結果として一時的な税金費用が発生したため、法人所得税費用は466億円となり、税引前四半期利益に対する税効果適用後の法人所得税費用の負担率は、48.2%となりました。

以上の結果、四半期利益は、501億円となりました。

非支配持分に帰属する四半期利益は、主として大日本住友製薬株式会社などの連結子会社の非支配持分に帰属する四半期利益からなり、前年同四半期の200億円に比べ4億円増加し、204億円となりました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

E00752)

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

--	--	--

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年9月30日現在



第4 【経理の状況】

1. 要約四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内

(単位：百万円)

EDINET提出
住友化学株式会社(EO)
四半期報

注記	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
----	-------------------------	------------------------------

(2) 【要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書】

【要約四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

【第2四半期連結会計期間】

(3)

【要約四半期連結財務諸表注記】

前第 2 四半期連結累計期間(自

前第2四半期連結会計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

セグメント利益から税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
セグメント利益	53,904	40,213
条件付対価に係る公正価値変動	4,356	23,296
減損損失	-	19,335
事業構造改善費用	1,789	2,039
その他	77	

10. 非金融資産の減損

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当第2四半期連結累計期間において、19,335百万円の減損損失を計上しております。減損損失は、要約四半期連結損益計算書の「売上原価」および「販売費及び一般管理費」に計上しております。

減損損失を認識した主要な資金生成単位は以下のとおりであります。

--	--	--	--	--

(2) レベル3に区分された金融商品の調整表
E00752)

(劣後特約付社債)(以下「本社債」という。)の発行を決定し、同日、本社債の発行登録書および発行に関する訂正発行登録書を関東財務局長に提出しました。本社債の発行についての概要は以下のとおりであります。

(1) 本社債発行の目的と背景

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

